カトリック高円寺教会教会報

いしずえ

2019 7・8 月号

第623号 2019・7・30 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南2-33-32 TEL 03-3314-5688 FAX 03-3314-8954

平和旬間を迎えて

主任司祭 吉池好高

今年も、日本の教会では平和旬間を迎えようとしています。聖堂への上り口の掲示板には、この期間に行われる東京教区の催しのポスターが掲示されています。わたしたちの武蔵野南宣教協力体では八月十二日（月）十時より吉祥寺教会で「『子どもが生きる力』を守る～子どもの声を社会へ～」という荘保共子さんによる講演会が行われます。その後、菊地大司教様と協力体三教会の司祭団の共同司式による平和祈願ミサがささげられます。吉祥寺教会有志の皆様がお心のこもった昼食を用意してくださっているので、懇談のひとときをお過ごしください。大勢の皆様のご参加をお願いいたします。

真実平和を祈り求めるためには、わたしたちの過去を振り返らなければなりません。わたしたちが生きている国の過去の歴史を振り返るとき、忘れてはならないことは、言うまでもなく、あの戦争の経験であり、その渦中に巻き込まれて犠牲となった無数の方々の無惨な死です。沖縄の地上戦で命を落とした無数の方々。国内の各都市で焼夷弾によって黒焦げの死体を焼け野原にさらした数知れぬ人々。成果の見込みのない特攻に駆り出された多くの若者たち。そして、あの広島と長崎の原爆の下で一瞬のうちにそれまでの生活と団らんを奪われた人々。

「戦争は人間の仕業です。戦争は死です。」というヨハネ・パウロ二世の広島の地からの痛切な訴えを忘れることはできません。八月十五日の終戦の日は戦争の犠牲となったすべての人々の追悼のための日です。わたしたちの主イエス・キリストは人間の無慈悲で残酷な仕業が繰り返されるたびに、その犠牲となった人々の姿を持って、十字架のお姿のうちにそこに現存されているのです。

自分たちの世代は戦争と無関係だとうそぶくことはできません。わたしたちが信じている神は、すべての人の父であり、わたしたちは皆、その父にとってのかけがえのない子供たちであり、皆、兄弟どうしなのです。その絆に結ばれて、人間であるわたしたちの仕業の犠牲となった方々のために、痛恨の祈りをささげなければなりません。